



井上 直人 いのうえ なおと

東京蒲田病院 循環器内科

(電話) 03-3733-0525

東京都大田区西蒲田 7-10-1

●循環器専門医

診療内容

狭心症、心筋梗塞症、心不全、閉塞性動脈硬化症（末梢血管障害）

かつては冠動脈のインターベンション（PCI）が専門でしたが、15年ほど前から末梢血管に対するインターベンション（EVT）も積極的に手掛けるようになり、今ではほぼ均等に施行しています。心臓と足の血管両方に病変がある患者さんも多く、それらをトータルで管理できることを強みとしています。もちろん内科的な治療も重要で、無理に手術することなく患者さんと十分相談の上、治療の適応を決定するようにしています。現在は東京蒲田病院と東京ハートセンターの両施設で優秀なスタッフとともに治療を行っています。2018年は若手の医師に対する指導的立場で手術に入ることが多くなっており、海外でも多くの症例を施行しています。個人としては慢性完全閉塞などの治療困難例を中心に、PCI 100例、EVT 40例を施行しています。



村松 俊哉 むらまつとしや

東京ハートセンター 循環器内科

(電話) 03-5789-8100

東京都品川区北品川 5-4-12

●循環器専門医

診療内容

狭心症、心筋梗塞（冠動脈カテーテル治療、特に慢性完全閉塞病変を含む複雑病変）

冠動脈疾患に対する心臓カテーテル治療を30年経験してきました。（総治療数18,000件）その間、3つの病院のカテーテル治療の立ち上げから関わり現場一筋にて行ってきました。心臓カテーテル治療は心臓病の増加とともに、この30年間に大きく発展し日本における患者数は年間22万人を有するほどになっております。その間のカテーテル器具と技術の進歩は目覚ましく常に最先端の技術習得に努めてまいりました。中でも、最も困難とされる慢性完全閉塞病変に対するカテーテル治療に着目し年間200例を超える治療を行って来ました。国内外の多数の患者さんと対峙し研鑽を積んできた経験を出せるだけ多くの患者さんに還元したいと願っています。複雑な病変でも安全を重視しかつ低侵襲を第一にした治療を目指しています。



新浪 博士 にいなみ ひろし

東京女子医科大学病院 心臓血管外科
(電話) 03-3353-8111 東京都新宿区河田町 8-1

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、心臓弁膜症、大動脈疾患、重症心不全（心臓移植、補助人工心臓）

●外科専門医、心臓血管外科専門医

心臓・血管／心臓血管外科

得意分野・診療案内

主には成人心臓血管外科全般の治療を行っています。『患者様にとって体の負担が少ない低侵襲な治療』を常に考え、冠動脈バイパス術においては約97%以上が人工心臓を使用しない、オフポンプバイパス術で行っており、弁膜症治療においては、僧帽弁はMICS手術でできる限り形成を、大動脈弁狭窄症に対しては、最新の人工弁を使用した弁置換術やカテーテルによるTAVIを行っています。

大動脈疾患については真性動脈瘤や解離性動脈瘤に対する人工血管置換を行いカテーテルによるステントグラフト治療との併用も行っています。

また、重症心不全に対する植込み型補助人工心臓装着術を積極的に行い、心臓移植実施施設として心臓移植も積極的に行っております。

診療ポリシー・患者さんへのメッセージ

本邦において行うことのできる心臓血管手術を全て行うことができるように、高度医療機器を揃えた施設の充実と医療スタッフを備え、さらには豊富な手術数により、最高の医療を提供し続けていきたいと思っております。

	個人年間総治療数：330件（2019年）	過去5年間の総治療数：約1,700件
手術・治療実績・コメント	【高難度手術】（2019年） 手術名：オフポンプ冠動脈バイパス術 件数：212件 生存退院率：術後1年以上の生存率100% 重篤な合併症数：-件 再手術数：-件 術死件数：-件	【主な治療実績】（2019年） 大動脈弁置換術：42件 僧帽弁形成術：28件 大動脈基部置換術：8件 大動脈瘤切除術：12件 補助人工心臓植込み術：4件 心臓移植：3件
	大動脈弁狭窄症においてはTAVIが保険適応でない透析患者に対してご高齢でも積極的に弁置換術を行っており、弁を縫わずに置換できる人工弁が当院では使用できるため手術危険率の高い患者さんにも良好な成績で治療が提供できています。	
業績	東南アジアにおける手術指導を長年行っており、年に5回程度渡航し、手術支援を行っております。特にミャンマーにおいてはJICAのofficial adviserとして日本からの援助で建築中の循環器病院の支援を行っています。	